

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
教材ポータルサイトの紹介

来嶋 秀治
滋賀大学 データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター



教材分科会

<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/activities2.html>

目的

モデルカリキュラムに対応した教材の収集・開発、大学等が活用できる環境の整備を行います。

委員

来嶋 秀治	滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター（主査）
内田 誠一	九州大学 数理・データサイエンス教育研究センター（副主査）
磯邊 秀司	東北大学 データ駆動科学・AI教育研究センター
中澤 崇	金沢大学 学術メディア創成センター
駒水 孝裕	名古屋大学 数理・データ科学教育研究センター
若木 宏文	広島大学 AI・データイノベーションセンター
宮崎 英一	香川大学 大学教育基盤センター数理情報・遠隔教育部

活動アーカイブ

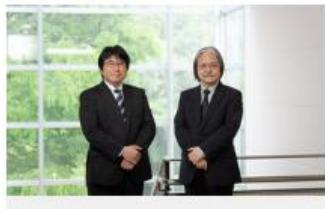
- [eラーニング教材・講義動画配信（リテラシーレベル）](#)
- [eラーニング教材・講義動画配信（応用基礎レベル）](#)



<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/index.html>

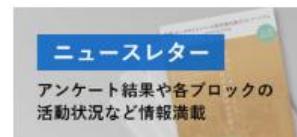
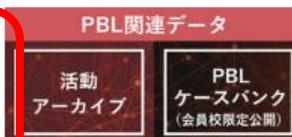
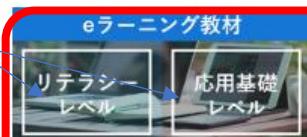
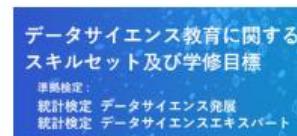


「数理・データサイエンス・AIと大学」インタビュー



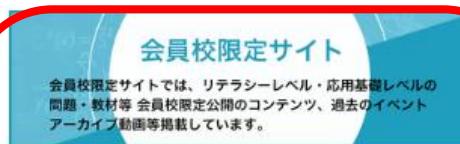
AIの開発・利用における倫理や
法制度まで教え、起業する力を育む

第23回 東京科学大学DS・AI全学教育機構
機構長 小野 功 教授／前機構長 三宅 美博 特任教授



- リテラシーレベル
- 応用基礎レベル

会員校限定の教材もある



モデルカリキュラム

- リテラシーレベル、応用基礎レベル
- カリキュラム改訂2024

2,000人/年
(トップクラス100人/年)

エキスパート

データサイエンス・AIを駆使してイノベーションを創出し
世界で活躍できるレベルの人材の発掘・育成

25万人/年
(高校の一部、
高専・大学の50%)

自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得

応用基礎

AI×データ活用の実践

AI基礎

学習 認識 予測・判断 生成 言語・知識 身体・運動

データサイエンス基礎

データエンジニアリング基礎

応用基礎レベル
モデルカリキュラム

数理・データサイエンス・AIを活用するための基礎的な知識・スキル

リテラシー
(選択項目)

統計および
数理基礎

アルゴリズム
基礎

データ構造と
プログラミング基礎

...

リテラシーレベル
モデルカリキュラム

初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得

リテラシー
(コア学修項目)

導入：社会における
データ・AI利活用

基礎：データ
リテラシー

心得：データ・AI利活用
における留意事項

50万人/年
(大学・高専卒業生全員)

参考

トップ

論文募集要項

受賞論文

参考情報

これまでの記録

2024 受賞論文 高校生の部

総務大臣賞

[食の外部化における地域特性 \(PDF : 881KB\)](#)

佐々木 万悠子（雙葉高等学校）

新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により、外食から中食へのシフトが進んでいる状況に着目し、都道府県庁所在市別にどのように異なるかを比較分析し、食の外部化（外食と中食）の傾向が地域により異なり、その背景は生活環境が大きく影響すると考えられることを示唆した。

優秀賞

[福祉支援を通じた過疎化対策の提案 \(PDF : 1,667KB\)](#)

黒木 喬士郎、井上 和幸、高山 大綺、玉田 章人（大分工業高等専門学校情報工学科）

過疎化が進行している地域において、福祉支援が人口増加に与える影響を調査し、福祉施設の利用者割合と人口増加率の間には一貫した相関は見られなかったものの、特定の地域では福祉施設の充実が人口増加に寄与している可能性を示唆した。

統計数理賞

[子供の体力・運動能力 \(PDF : 1,680KB\)](#)

大河内 花音（愛知県立一宮高等学校）

子供の体力・運動能力の向上・低下に関係する要因を見つけるため、都道府県別に分析を行い、運動習慣が運動能力に大きな影響を与えており、運動系の習い事や外で遊びやすい環境を作ることや、生活習慣を整え学校での勉強にも力を注ぐことが、結果的に運動能力の向上につながることを示唆した。

統計活用奨励賞

[医療費削減に向けたスポーツ時間増加策のデータ分析 \(PDF : 1,441KB\)](#)

過 目今（法政大学国際高等学校）

医療費削減に向けスポーツ時間を阻害する要因を見つけるため、スポーツ行動者率とスポーツ行動者平均時間の二つについて分

/ 2023 受賞論文

→ 2022 論文募集要項

→ 2022 受賞論文

→ 2021 論文募集要項

→ 2021 受賞論文

→ 2020 論文募集要項

→ 2020 受賞論文

→ 2019 論文募集要項

→ 2019 受賞論文

→ 2018 論文募集要項

→ 2018 受賞論文

ニュース一覧



モデルカリキュラム（リテラシーレベル）

https://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムでは、「大学の数理・データサイエンス教育強化方策について」（平成28年12月21日 数理及びデータサイエンス教育の強化に関する懇談会）及びAI戦略2019（令和元年6月11日 統合イノベーション戦略推進会議）等の提言を踏まえ、データサイエンス教育の全国の大学への普及・展開に向けた活動を実施してまいりました。

分野を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）を対象にしたリテラシーレベルの教育の基本的考え方、学修目標・スキルセット、教育方法等について、[意見募集](#)を経て、この度、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」として取りまとめましたので、以下のとおり公開します。

[数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養～（2020年4月14日制定）](#)

数理・データサイエンス・AI教育コンソーシアムでは、小中学校でのプログラミング学習の導入・定着や、高等学校での「情報」の必修化に伴い、2025年4月に当該教育を受けて入学する学生を踏まえた対応とともに、生成AI等社会の動向の変化を踏まえたスキルセット等の見直しにより、リテラシーレベル及び応用基礎レベルのモデルカリキュラムの改訂を検討するため、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムのカリキュラム分科会下において、「モデルカリキュラム改訂に関する特別委員会」を設置いたしました。

委員に公私立大学、産業界、生成AI、高等学校の関係者を参画させるとともに、専門家からの意見聴取の機会を設け、幅広い合意形成に努め、この度、以下のとおり「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」の改訂を行いました。

[数理・データサイエンス・AI\(リテラシーレベル\)モデルカリキュラム～データ思考の涵養～（2024年2月22日改訂）※改訂箇所明示版](#)

[数理・データサイエンス・AI\(リテラシーレベル\)モデルカリキュラム～データ思考の涵養～（2024年2月22日改訂）※クリーン版](#)

【モデルカリキュラム改訂に関する特別委員会議事要旨】

- [数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムモデルカリキュラム改訂に関する特別委員会\(第1回\)議事要旨](#)
- [数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムモデルカリキュラム改訂に関する特別委員会\(第2回\)議事要旨](#)
- [数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムモデルカリキュラム改訂に関する特別委員会\(第3回\)議事要旨](#)

高等学校「情報Ⅰ」とモデルカリキュラムとの関係

- 高等学校「情報Ⅰ」の教科書に掲載されている内容を参考に大分類・中分類・小分類に分け、それに対応するリテラシーレベル及び応用基礎レベルのモデルカリキュラムの箇所を比較表として示したもの。なお、高等学校では「数理探究其壁」が新たに設置されいろ。
- リテラシーレベル及び応用基礎レベルのモデルカリキュラムにおいて高等学校「情報Ⅰ」の項目が網羅されていることから、モデルカリキュラムで重複している箇所は、各大学・高専が開設する授業において、高等学校「情報Ⅰ」の学習内容に対する理解度を確認したり、復習したりした上で、より深い内容を教えることなどが考えられる。

高等学校「情報Ⅰ」			リテラシーレベルモデルカリキュラム	応用基礎レベルモデルカリキュラム
大分類	中分類	小分類		
情報社会	情報と情報社会	情報の特性・定義と分類、メディア、情報社会など	リ1-1 社会で起きている変化	
	問題解決の考え方	問題の発見、問題解決の遂行、表現と伝達など	リ1-5 データ・AI活用の現場	応1-1 データ駆動型社会とデータサイエンス
	法規による安全対策	セキュリティ、安全対策など	リ3-2 データを守る上での留意事項	応2-6 ITセキュリティ
	個人情報とその扱い		リ3-1 データ・AIを扱う上での留意事項	
	知的財産権の概要と産業財産権		リ3-1 データ・AIを扱う上での留意事項	
情報デザイン	著作権		リ3-1 データ・AIを扱う上での留意事項	
	コミュニケーションとメディア	コミュニケーションの手段や形態、メディアなど		応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
	情報デザインと表現の工夫	文字、配色、抽象化、可視化、構造化など	リ2-2 データを説明する	
	発展・プレゼンテーション		リ2-2 データを説明する	
デジタル	Webページと情報デザイン	HTML、CSSなど		応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
	デジタル情報の特徴	デジタル表現や情報量など		応2-2 データ表現
	数値と文字の表現	2進数、浮動小数点、文字コードなど		応2-2 データ表現
	演算の仕組み	加減算、論理回路など		応2-7 プログラミング基礎
	音の表現			応2-2 データ表現
	画像の表現			応2-2 データ表現
	コンピュータの構成と動作	ハードウェア、ソフトウェア、OS、メモリ、CPUなど		応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
ネットワーク	コンピュータの性能			応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
	発展・データの圧縮と効率化			応2-2 データ表現
	ネットワークとプロトコル	LAN、WAN、サーバ、プロトコルなど		応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
	インターネットの仕組み	IPアドレス、ドメイン、ルーティングなど		応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
	Webページの閲覧とメールの送受信			応2-3 データ収集
	情報システム		リ1-3 データ・AIの活用領域	応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
	情報システムを支えるデータベース			応2-1 ビッグデータとデータエンジニアリング
問題解決	データベースの仕組み			応2-4 データベース
	個人による安全対策	ウイルス、不正アクセスなど		応2-6 ITセキュリティ
	安全のための情報技術	電子透かし、ブロックチェーン、VPN、誤り検出、暗号化、電子署名など		応2-6 ITセキュリティ
	データの収集と整理		リ1-2 社会で活用されているデータ	応2-3 データ収集、応2-5 データ加工
	ソフトウェアを利用したデータの処理		リ2-3 データを扱う	
プログラミング	統計量とデータの尺度		リ2-1 データを読む	応1-3 データ観察
	【発展】データの分布と検定の考え方			応1-6 数学基礎
	時系列分析と回帰分析			応1-4 データ分析
	発展・区間推定とクロス推定			応1-6 数学基礎
	モデル化とシミュレーション			応3-7 予測・判断
	アルゴリズムとプログラミング		リ4-2 アルゴリズム基礎、リ4-3 データ構造とプログラミング基礎	応1-7 アルゴリズム、応2-7 プログラミング基礎
	プログラミングの基本		リ4-3 データ構造とプログラミング基礎	応1-7 アルゴリズム、応2-7 プログラミング基礎
プログラミング	配列		リ4-3 データ構造とプログラミング基礎	応1-7 アルゴリズム、応2-7 プログラミング基礎
	関数		リ4-3 データ構造とプログラミング基礎	応1-7 アルゴリズム、応2-7 プログラミング基礎
	探索		リ4-2 アルゴリズム基礎	応1-7 アルゴリズム、応2-7 プログラミング基礎
	整列		リ4-2 アルゴリズム基礎	応1-7 アルゴリズム、応2-7 プログラミング基礎
	発展・オブジェクト指向プログラミング			応2-7 プログラミング基礎
	発展・プログラムの設計手法			応2-7 プログラミング基礎

教材ポータル



<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/index.html>



「数理・データサイエンス・AIと大学」インタビュー



AIの開発・利用における倫理や
法制度まで教え、起業する力を育む

第23回 東京科学大学DS・AI全学教育機構
機構長 小野 功 教授／前機構長 三宅 美博 特任教授

- リテラシーレベル
- 応用基礎レベル

モデルカリキュラム	特定分野会議	データサイエンス教育に関する スキルセット及び学修目標
リテラシーレベル	自然科学系 モデルシラバス、 標準教材	人文・ 社会科学系 モデルシラバス
応用基礎レベル		準拠検定: 統計検定 データサイエンス発展 統計検定 データサイエンスエキスパート

eラーニング教材	PBL関連データ
リテラシーレベル	活動アーカイブ
応用基礎レベル	PBL ケースバンク (会員校限定公開)
	ニュースレター
	アンケート結果や各ブロックの 活動状況など情報満載

会員校募集	会員校限定サイト
	会員校限定サイトでは、リテラシーレベル・応用基礎レベルの 問題・教材等 会員校限定公開のコンテンツ、過去のイベント アーカイブ動画等掲載しています。

会員校限定の教材もある



リテラシーレベルモデルカリキュラム対応教材

利用条件とアンケート

東京大学と記載のあるスライド教材の利用については[こちら](#)（一部スライドは冒頭の利用条件をご参照ください）。

東京大学と記載のある講義動画の利用条件は、各動画の冒頭をご参照ください。

滋賀大学と記載のある教材の利用条件は[CC BY-NC-SA](#)です。

九州大学と記載のある教材の利用条件は[CC BY](#)です。

筑波大学と記載のある教材の利用条件については[こちら](#)

北海道医療大学と記載のある教材の利用条件は[CC BY](#)です。

東京都市大学と記載のある教材の利用条件については[こちら](#)

教材のアンケートは[こちら](#)

幹事校の東大のページに
一通りのスライドが見つかる。

モデルカリキュラムと対応する講義動画・スライド

- [1. 社会におけるデータ・AI利活用](#)
- [2. データリテラシー](#)
- [3. データ・AI利活用における留意事項](#)
- [4. オプション](#)

数式少なめの動画などもある

1. 社会におけるデータ・AI利活用

1-1. 社会で起きている変化

キーワード	数式なしまたは少なめ	数式あり	補助教材	教科書シリーズとの対応
	- 社会で起きている変化 (スライド・東京大学)			
ビッグデータ、IoT、AI、ロボット	- データサイエンスの役割(1)(動画・滋賀大学) - ビッグデータとIoT/CPS(動画・筑波大学)			- 教養としてのデータサイエンス
データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進歩	- データサイエンスの役割(2)(動画・滋賀大学)			- 教養としてのデータサイエンス



応用基礎レベルモデルカリキュラム対応教材

利用条件

東京大学と記載のあるスライド教材の利用については[こちら](#)（一部スライドは冒頭の利用条件をご参照ください）。

東京大学と記載のある講義動画の利用条件は、各動画の冒頭をご参照ください。

滋賀大学と記載のある教材の利用条件は[CC BY-NC-SA](#) です。

モデルカリキュラムと対応する講義動画・スライド

- [1. データサイエンス基礎](#)
- [2. データエンジニアリング基礎](#)
- [3. AI基礎](#)

1. データサイエンス基礎

1-1. データ駆動型社会とデータサイエンス (☆)

キーワード	数式なしまたは少なめ	数式あり	補助教材	教科書シリーズとの対応
	- データ駆動型社会とデータサイエンス（スライド・東京大学）			- 応用基礎としてのデータサイエンス
データ駆動型社会、Society 5.0				- 応用基礎としてのデータサイエンス
データサイエンス活用事例（仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など）	- 数理・データサイエンス・AIの活用事例動画 - 重要性評価の数理（動画「数理手法VIII-1-2」・東京大学） - 統計解析とデータの論理（動画「数理手法VIII-			- 応用基礎としてのデータサイエンス

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

MIセンターは、2022年度政府予算に盛り込まれた「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」事業の東京大学における実施主体です。同事業で選定された29大学（拠点校11大学、特定分野校18大学）のコンソーシアムの幹事校として、大学、産業界、研究機関等と幅広くネットワークを形成し、地域や分野における先進的教育モデルの拠点として、数理・データサイエンス・AIの実践的教育の全国普及に努めます。同時に、この分野を牽引できる国際競争力のある人材および産学で活躍できるトップクラスのエキスパート人材の育成を目指します。

[\[コンソーシアムホームページ\]](#)

数理・データサイエンス・AIの活用事例動画

本動画集は数理・データサイエンス・AIリテラシーレベル教材の導入となるような活用事例を収集したものです。数理・データス・AIリテラシーレベル教材との対応は下の教材一覧をご覧ください。

[人工知能\(AI\)の活用事例動画一覧](#)

本教材の利用についての詳細
(次ページ)

数理・データサイエンス・AI教材

本教材は数理・データサイエンス教育強化コンソーシアムが公開したリテラシーレベル及び応用基礎レベルのモデルカリキュラムの全国展開に向け、東京大学数理・情報教育センターが開発したものです。モデルカリキュラムに完全準拠したものであり、全ての大学、高専において、学生への教育にご利用いただけます。

[本教材の利用についての詳細](#)

リテラシーレベル教材

章	節	教材	実習用補助教材	旧版の教材
	1-1. 社会で起きている変化	スライド <small>PDF</small>		スライド <small>(2020年) PDF</small>
	1-2. 社会で活用されているデータ	スライド <small>PDF</small>		スライド <small>(2020年) PDF</small>
1. 社会におけるデータ活用	1-3. データ・AIの活用領域			

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/6university_consoritium.html

数理・データサイエンス・AI教材について

東京大学 数理・情報教育研究センター
センター長 駒木 文保

本教材は数理・データサイエンス教育強化コンソーシアムが公開したリテラシーレベルおよび応用基礎レベルのモデルカリキュラムの全国展開に向け、東京大学 数理・情報教育センターが開発したものです。モデルカリキュラムに完全準拠したものであり、全ての大学、高専において、学生への教育にご利用いただけます。

■ 本教材の特長

- ◆ 数理・データサイエンス教育強化コンソーシアムが公開した、[数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム PDF](#) および[数理・データサイエンス・AI（応用基礎レベル）モデルカリキュラム PDF](#) に完全に準拠しており、モデルカリキュラムに掲載されたすべてのキーワード（知識・スキル）を取り上げています。
- ◆ 本教材は教育的な目的に限って、ページ単位でクリエイティブ・コモンズ ライセンスCC BY-NC-SAの下で利用することができます。
([利用条件の詳細はこちら](#))

■ 利用にあたってのお願い

- ◆ 本教材は今後ご利用された皆様のご意見を反映して、適宜、修正・改善を行っていく予定です。誤り、分かりにくいところ、補充した方がよいことなどに気が付かれた場合は下記の事務局にご連絡いただくようお願いいたします。
- ◆ 本教材のご利用にあたっての条件ではありませんが、アンケートシート（[リテラシーレベル](#), [応用基礎レベル](#)）にご記入いただけると大変ありがとうございます。ご記入いただいた大学には更新等の情報を連絡させていただくとともに、ご意見を頂いた場合には今後の更新時に参考にさせていただきます。

■ リテラシーレベル教材の作成ワーキンググループについて

本教材は東京大学 数理・情報教育研究センターに設置した下記のメンバーからなるワーキンググループで作成いたしました。主な作業分担は下記のとおりです。

全体統括： 駒木 文保 教授（センター長）

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium2/c_portal_guide.html

章	節	教材	実習用補助教材	旧版の教材
1. 社会におけるデータ・AI利活用	1-1. 社会で起きている変化	スライド		スライド (2020年)
	1-2. 社会で活用されているデータ	スライド		スライド (2020年)
	1-3. データ・AIの活用領域	スライド	人工知能（AI）の活用事例動画	スライド (2020年)
	1-4. データ・AI利活用のための技術	スライド		スライド (2020年)
	1-5. データ・AI利活用の現場	スライド		スライド (2020年)
	1-6. データ・AI利活用の最新動向	スライド		スライド (2020年)
2. データリテラシー	2-1. データを読む	スライド		スライド (2020年)
	2-2. データを説明する	スライド		スライド (2020年)
	2-3. データを扱う	スライド		スライド (2020年)
3. データ・AI利活用における留意事項	3-1. データ・AIを扱う上での留意事項	スライド		スライド (2020年)
	3-2. データを守る上での留意事項	スライド		スライド (2020年)
4. オプション	4-1. 統計および数理基礎	スライド		
	4-2. アルゴリズム基礎	スライド		
	4-3. データ構造とプログラミング基礎	スライド		
	4-4. 時系列データの解析	スライド	データ 解析例 (pdf, excel)	
	4-5. 自然言語処理	スライド		スライド (2020年)
	4-6. 画像認識	スライド	Pythonサンプルコード（ pdf1 , pdf2 , pdf3 ）	
	4-7. データハンドリング	スライド		スライド (2020年)
	4-8. データ活用実践（教師あり学習）			
	4-9. データ活用実践（教師なし学習）			

応用基礎レベル教材

章	節	教材	実習用補助教材
1. データサイエンス 基礎	1-1. データ駆動型社会とデータサイエンス	スライド <small>pdf</small>	
	1-2. 分析設計	スライド <small>pdf</small>	
	1-3. データ観察	スライド <small>pdf</small>	
	1-4. データ分析	スライド <small>pdf</small>	補助資料
	1-5. データ可視化	スライド <small>pdf</small>	補助教材
	1-6. 数学基礎(前半)	スライド <small>pdf</small>	
	1-6. 数学基礎(後半)	スライド <small>pdf</small>	
	1-7. アルゴリズム	スライド <small>pdf</small>	
2. データエンジニア リング基礎	2-1. ビッグデータとデータエンジニアリング	スライド <small>pdf</small>	
	2-2. データ表現	スライド <small>pdf</small>	
	2-3. データ収集	スライド <small>pdf</small>	
	2-4. データベース	スライド <small>pdf</small>	
	2-5. データ加工	スライド <small>pdf</small>	
	2-6. ITセキュリティ	スライド <small>pdf</small>	
	2-7. プログラミング基礎	スライド <small>pdf</small>	
3. AI基礎	3-1. AIの歴史と応用分野	スライド <small>pdf</small>	
	3-2. AIと社会	スライド <small>pdf</small>	
	3-3. 機械学習の基礎と展望	スライド <small>pdf</small>	
	3-4. 深層学習の基礎と展望	スライド <small>pdf</small>	
	3-5. 認識	スライド <small>pdf</small>	
	3-6. 予測・判断	スライド <small>pdf</small>	
	3-7. 言語・知識	スライド <small>pdf</small>	
	3-8. 身体・運動	スライド <small>pdf</small>	
	3-9. AIの構築・運用	スライド <small>pdf</small>	

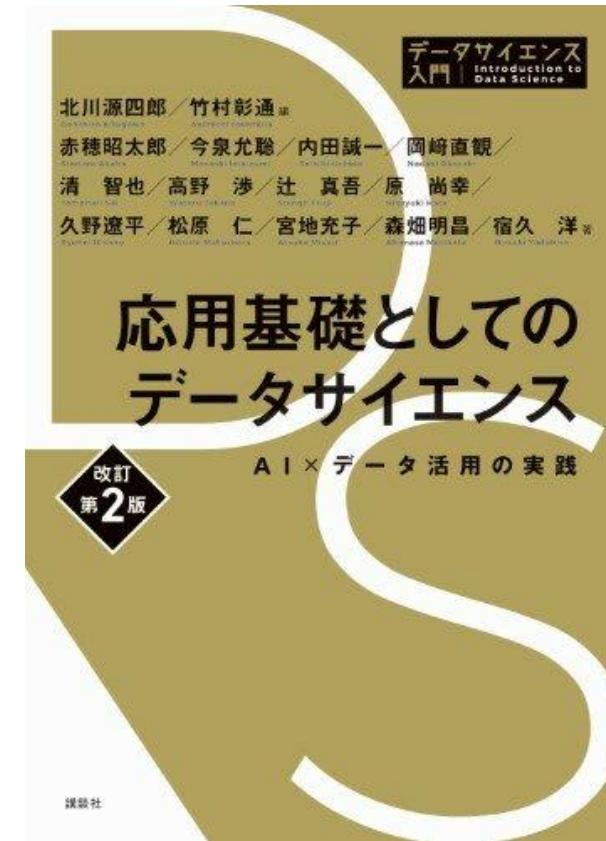
応用基礎レベル教材の詳細目次

- [教材目次詳細版](#) pdf
- [キーワードと教材の対応表](#) pdf

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/6university_consoritium.html

教科書シリーズ

モデルカリキュラムの改訂にあわせた、待望の第2版。生成AIの急速な発展などに対応し、完全準拠の公式テキストがパワーアップ。いま必要なデータサイエンス・データエンジニアリング・AIの基礎知識が、この一冊でまるわかり！

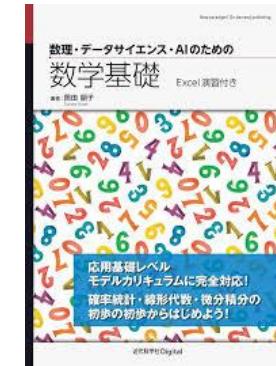


教科書



各出版社からMDASH対応教科書が出始めている

- 講談社、学術図書出版、近代科学社、技術評論社、他



技術評論社

お問い合わせ 会社案内 検索したい用語を入力

本を探す 新刊書籍 雑誌 電脳会議

書籍案内 > 書籍販売サービス・書籍販促物のご案内 > 学校・企業採用向けサービスのご案内 > データサイエンス・数理・AI教育プログラム対応教材のご案内

データサイエンス・数理・AI教育プログラム対応教材のご案内

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(MDASH)」の教育プログラムに対応のテキストや関連書籍をご紹介いたします。

申請様式・モデルカリキュラム対応表、図版データ、スライドデータなど書籍の内容に連動した補助教材やコンテンツをご用意しておりますので、ダウンロードのうえ、ぜひ授業にお役立てください。

「数理・データサイエンス・AI教育認定制度」についてはこちらをご確認ください

高大接続に向けて

◆高校の先生へ

教材ポータルを覗いてみてください

- 大学のリテラシーレベルではどんなことをやるのか？
- (DSの) 大学院ではどのようなことが学べるのか？

◆大学の先生へ

高校の情報科目などを見てみましょう

- 情報科目でどこまで教えているのか？
- 教材ポータルに (大学レベルの) リテラシー教材例があります

ご意見、ご要望お待ちしております。

cerist@mi.u-tokyo.ac.jp